

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 国語 科目 論理国語

教科：国語

科目：論理国語

単位数：1 単位

対象学年組：第2学年 1組～8組

教科担当者：（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）

使用教科書：（「精選 論理国語」 三省堂 ）

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 論理国語

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学期	「情報の『メタ』化」 【知識及び技能】 文章の論理構成について理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の論理構成を的確に捉えさせ、筆者の主張を把握させる。 【学びに向かう力、人間性等】 筆者の主張を把握し、情報の整理について相手にわかりやすく説明したり話し合ったりさせる。	・指導事項 第一次情報、第二次情報について整理する。 「思考の整理」について文章全体をおおしてまとめる。 新聞記事を取り上げ、より高次の情報に整理する。 ・教材 教科書、ワークシート、便覧 ・一人1台端末の活用			○	【知識及び技能】 文章の段階的な論理構成について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の段階的な論理構成を的確に捉え、「思考の整理」に対する筆者の主張を把握している。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで文章の段階的な論理構成について理解を深め、「思考の整理」に対する筆者の主張を把握し、新聞記事の情報により高次の情報に整理して説明したり話し合ったりしようとしている。				12
	定期考査									1
2 学期	「ゲノム編集とiPS細胞」 【知識及び技能】 用語の意味を捉えさせるとともに、科学技術の可能性と課題について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 集めた情報の妥当性や信頼性を確認させ、適切な具体的根拠をそろえさせて、これからの科学技術のあり方について自分の立場や論点を明確にさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 用語の意味を捉えさせ、情報の妥当性や信頼性の吟味をさせ、適切な具体的根拠をそろえさせ、これからの科学技術のあり方について自分の立場や論点を明確にして論じさせる。	・指導事項 ゲノム編集技術はどのような点で画期的なのか説明する。 新技術は慎重に扱う必要があるという筆者の考えをまとめる。 ゲノム編集の臨床応用について具体的にまとめる。 科学技術とどのように向き合うべきか、話し合う。 ゲノム編集やiPS細胞のよい側面と良くない側面について調べ、論述する。 ・教材 教科書、ワークシート、便覧 ・一人1台端末の活用			○	【知識及び技能】 本文中の学術的な用語の意味を捉えるとともに、筆者が述べる生命に関わる科学技術の可能性と課題について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 生命に関わる科学技術について多様な情報を集め、情報の妥当性や信頼性を吟味しながら調べたことを整理した上で、適切な具体的根拠をそろえて、これからの科学技術のあり方について自分の立場や論点を明確にしている。 【学びに向かう力、人間性等】 本文中の学術的な用語の意味を捉え、情報の妥当性や信頼性を吟味しながら調べたことを整理した上で、適切な具体的根拠をそろえて、これからの科学技術のあり方について自分の立場や論点を明確にして論じようとしている。				6
	定期考査									1
	「AI時代の『人間』」 【知識及び技能】 比喩や説明における語彙を理解させ、意味するところを把握させる。 【思考力、判断力、表現力等】 引用されている記述や書籍、文章などの情報をもとに、新しく人間に求められるあり方について筆者の主張を把握させる。 【学びに向かう力、人間性等】 専門用語について、本文と関連づけながら正しい知識をもたせ、筆者が主張する「世界開放性」と人間のあり方に対する自分の考えを論述させる。	・指導事項 人間とは何かという定義の変化についてまとめる。 人間とAIの境界線があいまいになっていく理由をまとめる。 世界に開かれる、開かれた世界について筆者の意見をまとめる。 筆者の主張に対する自分の意見をまとめる。 ・教材 教科書、ワークシート、便覧 ・一人1台端末の活用			○	【知識及び技能】 筆者が用いている比喩や説明における語彙を理解し、意味するところを把握している。 【思考力、判断力、表現力等】 本文において引用されている記述や、関係する書籍、文章などの情報をもとに、新しく人間に求められるあり方について筆者の主張を把握している。 【学びに向かう力、人間性等】 AIのあり方や情報化社会に関して一般化している専門用語について、本文と関連づけながら正しい知識をもつとともに、その知識を活用して筆者が主張する「世界開放性」と人間のあり方に対する自分の考えを論述しようとしている。				6
	定期考査									1
	「記号を使う動物」 【知識及び技能】 「創造的機能」と「牢獄的機能」について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 「言語創造」の例を探させ、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで「創造的機能」と「牢獄的機能」について理解し、「言語創造」の例について比較して論じさせる。	・指導事項 既存の語形と語義のずれや人間の記号による営みについて比喩や例を使って説明する。 人間が記号を使う動物だということについて文章全体を通してまとめる。 身近な言語創造の例を探して発表する。 ・教材 教科書、ワークシート、便覧 ・一人1台端末の活用			○	【知識及び技能】 言葉のもつ「創造的機能」と「牢獄的機能」について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 本文で読み取ったことをふまえて「言語創造」の例を探し、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで言葉のもつ「創造的機能」と「牢獄的機能」について理解し、「言語創造」の例について書き手の立場や目的を考えながら内容の解釈を深め、比較して論じようとしている。				4
	「ミロのヴィーナス」	・指導事項				【知識及び技能】				

3 学期	<p>【知識及び技能】 ミロのヴィーナスの美と、両腕の欠落との関係について理解を深めさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 文章の内容を筆者の表現の工夫から捉え直し、その効果についての考えを明確にさせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 進んでミロのヴィーナスの美と両腕の欠落との関係について理解を深めさせ、筆者の表現の工夫という視点から考察した内容を積極的にまとめさせる。</p>	<p>ミロのヴィーナスの美と両腕の欠落の関係について、筆者の考えを理解する。</p> <p>筆者独特の表現や感覚的な表現について、わかりやすく説明する。</p> <p>手の象徴的な意味をおさえた上で、筆者の考えをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材 ・教科書、ワークシート、便覧 ・一人1台端末の活用 	○	<p>ミロのヴィーナスが魅惑的であるということと、両腕が失われていることとの関係について理解を深めている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 文章の内容を筆者の表現の工夫という視点から捉え直し、その効果について考えたことを明確にしている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 進んでミロのヴィーナスの美と両腕の欠落との関係について理解を深め、筆者の表現の工夫という視点から考察した内容をまとめようとしている。</p>	○	○	○	4
	定期考査					○	○	1
								合計
								35